



「4年生が、このままの期待感をもって、5年生になるのを楽しみに頑張りますように。」
今の6年生の宿泊学習を記した1年前の「磨光」の最後は、この言葉で締めくくりました。
あれからもう1年。当時、宿泊学習からの帰校を学校で迎えていた5年生が、宿泊学習を終え、戻ってきました。

「初めて」物語

今回の宿泊学習は、初めて「冷やしうどん作り」に挑戦しました。火を起こして大釜でうどんを湯がいたり水でしめたり、麺を打ったり切ったり、それぞれの役割を分担しながら、（見た目はともかく）おいしいうどんができました。

クイズラリーも、焼き板づくりも初めて。友達とお風呂に入るのも寝るのも初めて。布団を敷いたり片付けたりするのも初めて——。たくさんの「初めて」ですが、物怖じせずにやれるところがこの5年生の長所です。



1日目夜のキャンドルサービスでは、5つの小学校の子どもたち全員が入り混じって交流しました。これも、これまでの宿泊学習にはなかった初めての試みです。新小学校のリーダーたちの初顔合わせです。

無言で誕生日順のサークルを作る「誕生日チェーン」。「猛獣狩りに行こうよ」ゲームなどを通し、子どもたちはすぐに仲良になりました。今回は初めての出会いでしたが、来年の4月に豊中小学校で出会った時は、懐かしの「再会」です。

2日目の焼き板づくり。右の写真は、子どもたちが作った初めての、そして最後の「本山小」の焼き板です。

この鳥はホトトギス。「目には青葉山ほどとぎす初鯉」と詠まれるように、私たちと馴染みの深い鳥であり、また、望郷の思いをかきたてる鳥とも言われています。板に書かれた「本山小」の文字も、いつの日か、懐かしくふるさとを思い出させてくれるのでしょうか。



もう一つの「初めて」

宿泊学習の翌日、5年生からは4名が丸亀市のPikaraスタジアムで行われた陸上大会に参加しました。ターラン（※陸上競技場の地面に使用されている合成ゴム）の上に立つのも初めて。そこでスパイクを履くのも初めて。ゼッケンをつけるのも初めてという中で、初めてとは思えないほど堂々とした走りを見せてくれました。

宿泊学習でも陸上でも、たくさんの「初めて」を経験しました。そして、それを乗り越える気持ちと術を知っているからこそ、後輩たちに「大丈夫、やってごらん。できるから。」と人を支えられる人になるのだと思います。

